

矢野温泉 国民保養温泉地計画書

令和7年3月
環境省

(目次)

1 . 温泉地の概要	1
2 . 計画の基本方針	2
3 . 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策	3
4 . 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等	4
5 . 温泉資源の保護に関する取組方針	4
6 . 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策	5
7 . 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策	6
8 . 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画	9
9 . 災害防止対策に係る計画及び措置	11

添付

1 . 矢野温泉国民保養温泉地位置図	13
2 . 矢野温泉国民保養温泉地区域図	14

1. 温泉地の概要

広島県府中市は、広島県の東南部、北緯34度34分、東経133度14分に位置し、福山市へ18キロメートル、広島市へ90キロメートルの地点にある旧府中市が、北部に隣接する上下町（旧甲奴郡上下町）を編入合併し、平成16年4月1日に新しい府中市としてスタートした。

その中で緑の山々に囲まれ、小鳥のさえずりが響く豊かな自然のふところに抱かれた矢野温泉は、福山市と三次市のほぼ中間にある山間の町、府中市上下町にある。上下町は府中市の北部に位置しており、矢野温泉の面積は、225ヘクタールである。

上下町の中央部は山陰山陽の分水嶺に当たり、南流した瀬戸内海へ入る芦田川の支流矢多田川と、北流して日本海へ注ぐ江の川の支流上下川が流れている。静かな山間の町で多くの文化遺跡を山の緑にくるんで保護しているため、有名観光地でない素朴さを残

している。矢野盆地の水を集めて東流し、矢多田川に合流している湯川の河岸に湧き出している本温泉地は古くから開けており、伝承では鎌倉時代初期の建仁年間（1201年から1204年）に、諸国をめぐっていた豊成



矢野温泉湯源

法師によって発見されたとされている。現在湧泉地裏の丘の上に豊成法師を祀る薬師堂が建てられている。本温泉地は、水温28度、pH8.8度（アルカリ性）、ラドン含有量7.73マツヘ、含有成分はカリウム、ナトリウム、カルシウムなどを含むアルカリ性単純温泉である。湧泉地は花崗岩で、地殻内部のマグマ溜りから花崗岩の節理や裂け目などを通して湧き出している。

また、本温泉地周辺には、豊かな自然の中でキャンプ、アスレチック、森林浴などのアウトドアが満喫でき、また、あやめをはじめ200種、7万本の花々が咲く矢野温泉公園四季の里がある。さらに近隣には、江戸時代に幕府の直轄地として栄え、この地方の政治的経済的な中心地であった白壁の町並みがある。現在でもその当時の威容を偲ばせる土蔵や町屋が並び、また、白壁やなまこ壁、格子窓といった歴史的景観が大きな魅力となっている。

本温泉地は、平成27年3月に中国横断自動車道尾道松江線（愛称：中国やまなみ街道）の全線開通に伴い広域交通の立地優位性は一段と高まっている。

2. 計画の基本方針

矢野温泉は、開湯以来療養の目的を達するため温泉のもつ本来の姿を完全に保つた



白壁の町並み

め、保養地として、また、療養地として大勢の人々に親しまれてきた。今後とも良質の温泉確保に努力し、「閑静な温泉地」として持続的発展を目指す。そのため、以下の取組みを柱とする温泉地づくりに努めるものとする。

源泉の保護と泉質の維持、確保並びに効果的利用等の周知、指導の推進

温泉資源の保護と衛生面の維持のための関係施設、設備の維持管理

矢野温泉のみならず、上下町全体の歴史、文化的資源などのPRと効果的活用

高齢者や障害者をはじめ誰もが温泉を安全、安心して利用することができる取組

の推進

3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

(1) 自然環境等の概要

矢野温泉は、広島県の東北山間部に位置し、標高350メートルから400メートルの上下盆地にある。周囲は、北から竜王山(768メートル)、弘法山(584メートル)、男鹿山(634メートル)、女鹿山(624メートル)、岳山(738メートル)等500メートルから700メートル級の山々が連なっている。また、本温泉地は、自然に囲まれた静かな佇まいの中に立地しており、まさに保養地、療養地としての「閑静な温泉地」に適した立地環境にある。



岳山

(2) 取組の状況

矢野温泉のある上下町は、「景観の形成に関する基本的かつ必要事項を定めることにより、豊かな自然と歴史に育まれた府中市にふさわしい魅力のあるまちづくりを行い、市民の文化や生活環境の向上に資すること」を目的とした「府中市上下町まちづくり景観条例」が制定され、同条例により建築物、工作物の新築、改築、移転、撤去、外観の変更等に当たっては届出が義務化されており、矢野温泉の風情等が保たれている。

また、周辺には、矢野温泉公園四季の里や歴史を感じることのできる上下白壁の町並み等があり、自然と歴史を感じる地域としてその機能を発揮している。そこに訪れた方々へ温泉のすばらしさを伝え、誘客に努めている。

(3) 今後の取組方針

矢野温泉において、さらに自然環境、町並み、歴史、風土及び文化等の維持保全等を図るため、関係機関と調整のうえ、(2) の取組を継続する。

4 . 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

(1) 医師又は人材の配置の状況

矢野温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う医師を配置しており、その施設及び活動の状況は、以下のとおりである。

協力施設	専門分野	活動内容	配置年度
府中北市民病院	内科、外科、整形外科、リハビリテーション科、皮膚科等	左記の病院において、適正な温泉利用や健康管理、温泉利用者の体調不良、一次救急、相談等に対応する。	H30 年度

(2) 配置計画又は育成方針等

矢野温泉では、(1) の医師の配置を継続して適正な温泉利用や健康管理に努めるとともに、温泉を活用した健康増進を図るため、温泉利用プログラムの安全かつ適切な実践が指導でき、生活指導、安全管理・救急処置ができる体制の構築に努める。

5 . 温泉資源の保護に関する取組方針

(1) 温泉資源の状況

源泉	温度 ()	湧出量 (/min)	泉質	湧山状況	所有者	利用施設
矢野温泉	28.3	100	アルカリ性単 純温泉（低張 性アルカリ性 低温泉）	動力揚湯	民間	1施設

(2) 取組の状況

源泉	取組	実施主体
矢野温泉	温泉分析調査（泉温・湧出量・成分等）を実施 源泉タンクの清掃、消毒、殺菌を実施	民間

(3) 今後の取組方策

(2) に掲げる現在の取組を継続し、温泉を安全、安心して利用することができるように現状の把握に努める。

6. 温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

(1) 温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

矢野温泉において、温泉利用に当たって使用している設備及び温泉利用状況は、以下のとおりである。

温泉地	源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
矢野温泉	1	引湯管、貯湯槽	1施設

(2) 取組の状況

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	必要に応じ、水質、成分検査を実施	源泉所有者
引湯管	自主的	バルブ等の点検、清掃・消毒を不定期に実施	各施設

貯湯槽	自主的	清掃及び消毒を1年に1回以上実施	各施設
浴槽	条例	レジオネラ属菌の水質検査を1年に1回以上実施 浴槽は、換水（循環式浴槽については完全換水を1週間に1回以上）及び清掃を毎日実施	各施設
設備周辺	自主的	設備周辺において、状況を確認しながらその都度清掃を実施	設備所有者

(3) 今後の取組方策

矢野温泉において、さらに温泉を衛生に保つため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続していく。また、不定期での検査を1年に1回以上実施する。

7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

(1) 温泉の公共的利用の状況

矢野温泉周辺は、海拔460メートルの高冷地であり、水、緑の豊かな自然に囲まれていることが、「閑静な温泉地」を演出し、国民保養温泉地として適した雰囲気醸成を醸し出している。さらに、キャンプ場や花園（あやめ園）、地域産物加工販売所などの公共サービスも充実しており、温泉地の公共的利用を促進している。

矢野温泉においては、宿泊施設が民間1施設となったこと、また、令和2年1月に国内1例目が確認され、その後感染が拡大した新型コロナウイルス感染症への対策により県境を跨いだ移動や観光が制限されたことなどが、宿泊客、日帰客に大きな影響を与えた。

そのため、過去3年間の利用状況については、宿泊客と日帰客の合計が平成26、27、28年（平成30年10月の計画策定時点）の平均で5万人弱程度であった

ところ、令和2、3、4年の平均で230人程度の利用となっている。

令和4年の利用状況をみると、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い広島県によるまん延防止等重点措置がとられた1月、2月は利用者がなく、その後は新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種者の増加や国民の意識の変化などから、利用客は徐々に回復傾向にある。令和4年時点では従前の利用客数の水準（令和元年434人）にまでは回復していないものの、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類相当から5類感染症に移行したことから、旅行需要、温泉需要は一層回復基調にある。

過去3年間の温泉の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	令和2年	令和3年	令和4年
矢野温泉	宿泊	303	149	244
	日帰	0	0	0
合計		303	149	244

直近1年間（令和4年）の温泉の利用者数

(単位：人)

温泉地	区分	施設数	利用者数					
			1月	2月	3月	4月	5月	6月
矢野温泉	宿泊	1	0	0	8	30	20	25
	日帰	1	0	0	0	0	0	0
合計			0	0	8	30	20	25

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
宿泊	62	12	28	34	22	3	244

日帰	0	0	0	0	0	0	0
	62	12	28	34	22	3	244

(2) 取組の状況

矢野温泉周辺において、温泉の公共的利用の増進を図るため、さまざまなイベントを実施しているが、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

取組	実施主体
【天領上下ひなまつり】 白壁の町並み周辺に「もち花」を飾り、「ひな人形」を展示して訪れる人をお迎えします。	天領上下 ひなまつり 実行委員会
【宇根かたくりまつり】 かたくりの群生地である宇根地域で、薄紫の可憐なかたくりの花が山腹一面に咲く様子が見られます。また、純白の水芭蕉も鑑賞できます。	宇根花の里 実行委員会
【天領じょうげ端午の節句まつり】 子ども達の健やかな成長を願い、白壁の町並みに五月人形を飾り、おもてなしの心で来場者をお迎えしています。	天領じょうげ 端午の節句まつり 実行委員会
【上下あやめまつり】 あやめ園にて、約200種7万本の色とりどりのあやめや花菖蒲が鑑賞できます。まつり期間中はステージイベントや出店などで来る人を楽しませます。	矢野温泉公園 四季の里
【来てつかあさい♥上下夏まつり】 お盆恒例の花火まつり。パレードや夜店、キッチンカーなどの催し物もあります。	上下町商工会
【天領上下の市(いち)】 白壁の町並みで行われるユニークなイベント。地元特産品の販売や屋台の出店などで盛り上がります。	上下町商工会
【上下かかしまつり】	矢野温泉公園

リアルなかかしからユーモア溢れるかかしまで、一般募集した「かかし」を展示することで、上下町の秋を彩ります。	四季の里
---	------

(3) 今後の取組方針

矢野温泉及びその周辺において、さらに温泉の公的利用の増進を図るため、環境の保全、環境配慮に努めながら、(2)の取組を継続する。また、現在の施設運営者を支援し温泉の存続に努めながら、主要な施設について、所有者と継続協議していく。

8. 高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

(1) 公共の用に供する施設の状況

公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

温泉地	区分	施設
矢野温泉	公有施設	道路(県道、市道)、公衆トイレ、公園、花園、キャンプ場、釣堀、売店、飲食店、温泉施設、宿泊施設、ワーケーション施設

(2) 取組の現状

高齢者、障害者等に配慮したまちづくりのため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

施設に関する取組

温泉地	区分	施設	取組
矢野温泉	公有施設	道路	温泉地内の道路の修繕及び保守管理を行っている。
		建築物	花園やキャンプ場に多目的トイレを設置してい

			る。宿泊施設は、トイレを洋式化している。
--	--	--	----------------------

市の策定する計画等

計画又は措置	計画又は措置の概要	実施主体
府中市第8期高齢者保健福祉総合計画・介護保険事業計画	人生100年時代、後期高齢者・単身高齢世帯の更なる増加、介護サービス基盤の安定化(介護人材確保など)、デジタル技術の進展などを踏まえ、「健康寿命の延伸」と「地域共生社会の実現」を目指し、本市の高齢者施策と介護事業所支援の方向性を明らかにする。	府中市
府中市障害者福祉計画	「共生と自己実現」を基本理念とし、誰もが等しく選択や機会が確保されるように平等な環境づくりを進めるとともに、その中で障害のある人が自らの個性の尊重や能力を活かした活動を実現できると、地域住民と共に支え合うことを目指す。	府中市
府中市第6期障害福祉計画	障害のある人が地域で自立し、自らの意思決定に基づいた生活ができるよう、障害のある人や支援者がおかれている状況などを把握し、重点的に取り組むべき課題や福祉サービスの確保方策等を示す。	府中市

(3) 今後の取組方策

矢野温泉において、さらに高齢者、障害者等に配慮したまちづくりを図るため、実施主体と調整の上、(2)の取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

温泉地	区分	施設
矢野温泉	公有施設	施設のバリアフリー化に努める。

9. 災害防止対策に係る計画及び措置

(1) 温泉地の地勢及び災害の発生状況

矢野温泉のある上下町は、海拔約460メートルに位置する高冷地であり、竜王山(768メートル)、岳山(738メートル)をはじめとする山々が起伏し、急峻な地形を形成している。令和4年の年間降水量は、1,034.0ミリメートルであるが、梅雨、台風時期の集中豪雨にしばしば襲われる。

過去の風水害として、特に昭和45年7月の台風10号において、全地域にわたり耕地、公共土木災害が発生し4億8,000万円の被害を受け、また、2年後の昭和47年7月豪雨による被害は8億4,000万円と大きな被害を受けている。

平成30年7月に発生し、本市を含む西日本各地に大きな被害をもたらした西日本豪雨では、幹線道路の寸断や河川の氾濫、内浸水、急傾斜地の崩壊など市内全域で大きな被害を受けており、公共土木、農地・農林水産施設で15億円に上る被害額となった。

(2) 計画及び措置の現状

矢野温泉において、現在、災害防止に関し策定している計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要	実施主体
矢野温泉	府中市地域防災計画	災害対策基本法(昭和36年法律第223号)第42条の規定に基づいて、市全域並びに市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため	府中市

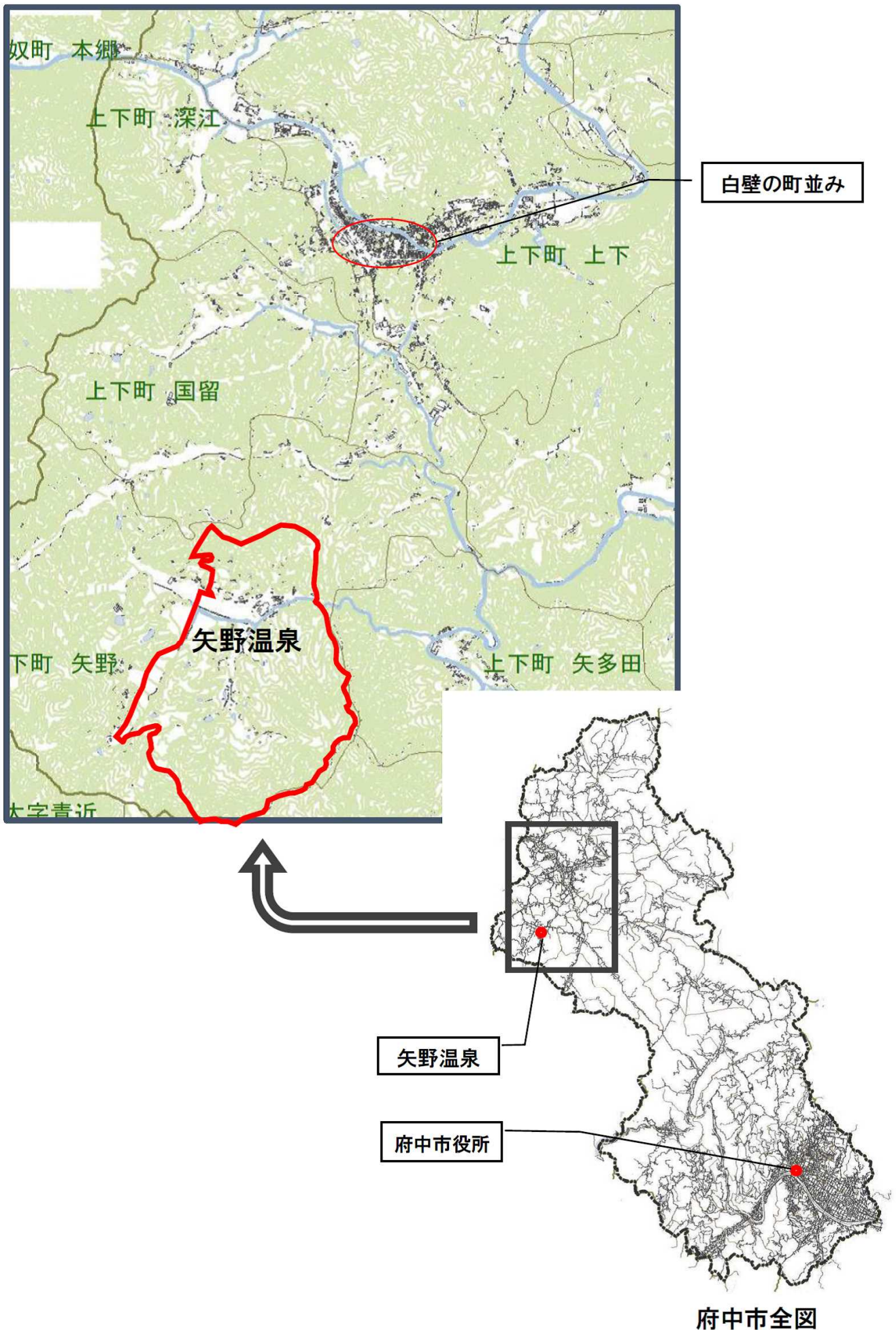
		に、本市の地域に係る防災に関し、市、県、指定地方行政機関、自衛隊、指定公共機関、指定地方公共機関及び防災上重要な施設の管理者が処理すべき事務又は業務の大綱を定め、さらに市民の役割を明らかにし、各種災害対策を迅速、的確かつ総合的に実施することにより、住民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。	
--	--	--	--

(3) 今後の取組方策

矢野温泉において災害の防止を図るため、実施主体と調整のうえ、(2) の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

温泉地	取組	実施主体
矢野温泉	市全域並びに市民の生命、身体及び財産を災害から保護するために、府中市地域防災計画を策定しているが、毎年定期的に検討を加え、必要と認める理由が生じたときは、市防災会議においてその都度速やかに修正する。	府中市
	旅館等の施設設置者に、施設の耐震化に向けた取組を指導、推進する。	府中市 各施設

矢野温泉国民保養温泉地位置図



矢野温泉国民保養温泉地区区域図

